みいけ主婦会

※原稿送り先＝大牟田市不知火町2丁目　三池炭鉱主婦会
※電話で知らせるとき＝市内3033・7140　炭鉱　474・528
※責任者＝文教部長　川畑信子

激励の声溢れる
静岡地区オルグ帰山報告

静岡地区へオルグとして派遣された主婦会の森副会長、古賀港務支部長、上形総務部長らは、東京電力労組、全繊同盟の定期大会など全労系の組合にも三池闘争の実態を知らせ、支援を呼びかけつづけ力強い激励をうけたり、各地の三池を守る会、組合との座談会などで交流を深め、闘いの理解をさらに深めてもらつたが、帰山どつぎの報告がよせられた。

駅前での歓迎

お茶で有名な静岡、富士の見えるのんびりした町、想像したのは静かな町であつた。

その静岡で全労加盟の全繊同盟大会が行なわれる、大会では三池の第二組合支援を執行部から提案されることを、働らく仲間たちはじつと見すごしてはいなかつた。早速三池に連結がとれ、私たち三人（森副会長、港務支部長古賀、上形）は出かけた。

想像した静かな町の駅頭はどうでしよう？炭掘る仲間のらた声に、国鉄・金遞・電通・教組・市職・県職・合同労・鋼機労・社会党・共産党・各組織代表の赤旗で駅前広場はうづめられ、三池を守る会のハチマキ姿の単産代表の出迎えであつた。

安保闘争にもり上つた静岡の労働者、町ぐるみの三池と安保の結びつきの姿が、炭掘る仲間のらた声と赤旗の乗りであつた。歓迎式の中で多数の激励をうけた。その中で女教師の夏目先生は

「正しい人間の歩みをした人はいつかはきつと勝ちます。三池闘争のカギを握る主婦の皆様に感謝し子供たちをあづかる私たちは、お母さんたちと手をとり合つて可愛い子供たちのみんなの幸をねがうため、一生けんめい平和をもとめ住みよい社会をきづくため、三池の婦人たちと共に頑張ります」と若い先生は真にせまる挨拶をされた。最後に炭掘る仲間をうたい、三取闘争を自分たちの闘いとして広げている静岡の労働者にささえられ教育会館宿舎に着く。宿舎の二階のまどから見えるのは、たくましくそびえる富士の姿であつた。

その富士の姿のごとく根づよくたくましい活動家たちが、三池を守る会の先頭となり活動をつづけられていることが話合いの中でわかつた。行動日程はギツシリと時間が無駄にならないようにくまれていた。

行動のすばらしさ

二十六日（日曜）静岡母親大会が行われる。それには活動家のお母さんたちの顔もみえ、分科会・全体会議と三池問題をとり入れてもらつた。全体会議の中で三池の真実をうつたえた。静かなきれいな町に住み、官公労に勤める夫を持つ静岡のお母さんたちは労働者の妻には変りなかつた。

三池の組合ブツブツの首切りを理解してもらえた。涙を流すだけでなく、カンパはたれからともなく集つた。また、座談会をしたいと要請をうけた。（三十日夜七時から場所をもらけた）また、大会参加者の中で後日行われた三池を守る会結成大会、集会、ビラ配布に多数の顔が出席されたこと。本当に行動のすばらしさに感心させられた。

安保闘争に立ち上つた静岡のお母さんたちの目は、三池闘争をみつめていたことをこの目で見ることができた。

会場前での訴え

全繊代議員大会前で、静岡の三池守る会が中心となつて単産代表者たちは集まつた。国鉄労働者は夜勤を終えて寝む時間に出てこられた。

組合書記の娘さんは職務の時間をさいて出られる人、平和婦人新聞読者の方、家庭の主婦の方たちあらゆる人たちは集まつた。

そうして全繊代議員大会前でビラを配り、通行の人に「組合をブツブツそうとする会社の攻撃に闘いつづける三池の仲間たちを守りましよう」とよびつづけられた。

私たち三名はマイクで三池の真実をうつたえた。

「思想の違いで労働者が別々の組織を持つことはある。しかし、どんな理由にせよ、総資本対総労働の闘いの中に、組合を分裂させるのは利敵行為であり、労働者として許しがたいこと、私たちはみんな同じ働く仲間、首を切られればあすから子供たちをどうして育てるか途方にまよわされる。

繊維産業と炭鉱との職場条件はちがうが、私たちにかけられてくる攻撃の大もとは一つだということ」などをうつたえ、安保体制下の合理化の三池の真実をしつていただくため、三池の現地にきてほしいとうつたえつづけた。

「全労加盟の私達も労働者です」

全繊代議員は立ちよつた。耳をかたむけてくれる人、写真を見る人また配られたビラは熱心に目を通してもらえたこと。そしてそのビラの裏に「毎日暑い中を御苦労様です。勝利のため最後まで闘いましよう」と激励され二百円のカンパ金を入れ渡される人、若い傍聴者で握手をかわしてくれた人、住所を書いた人（その人達には三池の真実を出来るだけ送る約束をしてきた）が日に日に多くなつた。

代議員の方で（名前はふせます）初日に菊川、江田（元宮浦主婦会支部長）両氏がメツセージの中で「第二組合の主婦たちの暴力行為がひどく、わが家に帰ることも出来ない」などいつたが、一方だけ聞いては解らないといつて大会二日目には大会場をぬけ出し、三池の話をききたいと二時間にわたる長い時間を話合ができた。

その方はこういわれた。

「三池は勝ちます。全労加盟の私たちも労働者です。安保と首切りがいかに労働者によつてみじめであるかということを知つております。大会で代議員の数で第二組合支援が決定されても、組合員たちは、この安保闘争の全国民のもり上りに、だまつて指をくわえて見ておりません。正しいことはきつと勝ちます。大会の結論だけみないで、繊維労働者の目のあることを忘れないで頑張つて下さい」と力強くはげまされ、大会場に帰られた。

街頭情宣の中で

午後の買物カゴをさげて出かけられる主婦たちにも呼びかけた。足をとめて写真の説明を読んで頑張つて下さいと、夕食代をさいてカンパする人、学生達の赤いサイフからはおこ使いがカンパとなり激励された。

ある大衆食堂の七十ちかい店主さんは、店先でしばらくマイク情宣にききいつていられた。すると、守る会の人達のカンパ箱の近くにきてガンバレよ、と声をかけられしばらくしてまた、ビラ配りの人にビラをもらい、またカンパをされそのビラを通りがかりの学生に「良く読みなさい」といわれた。

そうして五分もたつたろうかと思う時間にまた出てこられ、マイク持つて情宣している古賀支部長に「マイクをやめなさい……。労働者を愛切つてはいけないよ」と念を押し、百円を古賀さんの手に渡された。私たちは感激してしばらく情宣の声はつまつてしまつた。

一般に店先でマイク情宣すると、きらわれる。けれど静岡の人達は安保につながる三池闘争を理解されていた。

中年の方からは、「さきほどカンパを入れたが、向う（商業会館前）でも写真展をされている、こちらは第二組合が」とたしかめにこられ、「第一でなかつたらとりもどすはづだつた。第一とわかつたらもう一度カンパします」とまた百円いただいた。

この様なことが二十七日から三十日までの四日間に数多くあつたことに感激され、静岡の三池を守る会の人たちと共につかれを忘れた。

各単産廻り

全繊大会の終るのをまちかまえたように静岡地区労参加の職場廻りを、三地区にわかれて座談会された。

東電大会はじめ各会合へ

遠くは浜松地区、熱海でおこなわれる東電大会、富士の紙パ労連の三池を守る結成大会、島田の青年婦人の集り、焼津の全遞、市役所の三池の集いに参加した。

とくに東電大会では日刊情報（一三六号）で報告された通りです。

全繊同盟女子組合員の励まし

また、島田の青年婦人の集いの場では、全繊大会に参加された女子組合員五名が出席され、今まで全労関係からきかされた内容に質問をいだいていたといつて質問され○第二組合の賃闘問題について第一の主婦たちがほんとうに暴力行為をされるのか――。

○三池炭鉱は本当に倒産寸前なのか……。

など出され、こちらからの話合いの中で、一層の理解を深め、帰りにはカンパがとどけられてあつたその中に激励の手紙がはいつていた。

三池の皆様、毎日の闘いで御苦労様です。

今日急にでしたが皆様のお話を聞けるのを本当におまち致しおりました。私たちの組合は全繊加盟ですので、第二組合を支持しております。ほんとうに残念です。

でも私たちは皆様の正しいことを知つております。今日は会社からきた人は少人数ですが、少しずつカンパしました。ほんとうに少しですが皆様の闘争の勝利のために役立つことを願つています。

お体に気をつけて闘つて下さい

三池のお母様へ

といつて七百円のカンパと一緒にとどけられた。早速住所をしらべ文通出来るようになつた。

このように全労の労働者は、職制と執行部の圧力の中でも、私たちの正しいことをみつめ、はげましてくれている。これから行われようとする安保体制下の合理化をどうしてはねかえすか、職場で仲間たちをどう広げるか、若い女子青年たちは人間として正しく生きる自信をもつて張切つた活動ぶりをつづけられていることを忘れず、全国の仲間たちに正しい労働運動の歴史を残すことを約束して報告にかえます。

福岡地裁へ抗議する主婦の怒り

僕も頑張ります
自労小倉分会からの励まし

三池の労働者の皆さんお元気ですか。母から毎日のように、三池の炭坑の人たちは三井の資本家の悪い人たちのために闘つていると聞かされます。三池の人たちは僕たちの日本国民のために平和と民主主義を守るために、闘つているんだと聞かされます。

母も毎日のように街頭に立つて一生懸命カンパを集めて、どんなことがあつても勝たせるんだといつて、三池のために中食も忘れてがんばつています。

みなさんが一生懸命ビケをはつているところや、この前の久保さんが暴力団に殺されたこと等を新聞でみて、僕たちはほんとに良くわからないが腹が立ちます。

母はいつも国会解散・岸内閣だ倒、そして三池カンパと同時も家をあけてがんばつています。

学校から帰つても何時も母は留守ですが、三池が勝つまでは、母が留守でも、どんなに淋しくても平気だ、がんばるんだと僕は心で叫んでいます。

必らず勝つてください。あんなに一生懸命に働いている母がかわいそうです。

今日、いろん文を書くことを友達と約束しました。はずかしいのですが、又出します。

文が下手なので今日は名前を書きません。

七月七日

【家族事時問答】

條約破棄で中立国に
新安保とこれからの日本

父　お母さん、なんだか元気がないがどうかしたのかい。

母　いえネ、別にどうというのではないですけど、私たちが初めて国会請願までしたのに岸さんは〝声なき声〟に耳をかそうともしないでしよう……。

父　なんだ。それでがつかりか

和男　そうだよ。もう一歩というところで結局安保は発効しちやつた。もつと何なでかいやつをボカンとやりあおかつたんだ。

のり子　あら、お兄さん少しハネ上がつてやしない。岸さんだつて退陣することになつたし、アイクさんも来られなかつたじやない。お兄さんみたいなことばつかり言つてたら、こんなに運動が広がらなかつたと思うわ。。

アメリカ外交の行詰り

父　私ものり子に賛成だ。新安保は発行したつて、ここまでくれば死文同様だ。新聞にでてたけど向こうじや「国民に支持されない条約は無意味だ」と言つている。それにアイクの訪日中止は想像以上に反響が大きいようだ。アメリカの外交政策そのものが行き詰まつたのじやないか。

母　ですけど、やはり発効してしまえば戦争になるんじやないでしようか。和男だつて兵隊に…。

のり子　そうしたらお兄さんどこかに逃げちやいなさいよ（笑）

父　まあ、すぐにそういうこともないだろうよ。戦争するには警職法だとか機密保護法だとかを作つて国民の思想、言論を統制しなければならない。いまの力関係じやあとてもムリだろう。むしろ「安保が通つたつてどうということはないじやないか」というふうに国民が気抜けする時期を待つているんじやないかな。

ファシズムと帝国主義

和男　だけどソ連は米軍のスパイ機が日本の基地から飛び立つて報復攻撃すると言つてるし、こんどは原爆や水爆だつていつ米軍基地に持ち込まれるか判らない。

父　そう。それが問題なんだよ。結局アメリカに出て行つてもらわない限り日本の不安は解消しない。安保条約を破棄することがこれからの目標になるわけだ。

のり子　だけどお父さん、反岸と反米を混同しちゃいけないんじゃないかしら。民主主義擁護の運動だからつて……。

和男　新聞に書いてあつたんだろう。（笑）

父　しかし変えてごらん。民主主義擁護つていうのは反ファツシヨ闘争のことだろう。ところがファシズムの根元はアメリカの帝国主義だ。これと闘うのは当り前さ。

岸より悪い池田

母　帝国主義つて何ですか？

和男　資本家はお金をもうけようとすると必ず戦争をするでしよう。そういう政策のことですよ。

父　まあ、そうだ。それをいまはアメリカが中心になつて世界中を支配しようとしている。新安保がそれさ。社会党の浅沼さんも「アメリカ帝国主義は日中共同の敵だ」と言つている。もちろん、アメリカの国民は私たちと同じ労働者なんだから敵ではないがね。

母　ですけど一度結んだ条約を破棄するなんてことができますか

和男　それは出来ますよ。ボク調べたんですけどね、日本の政府が憲法や国民の意志に反するなら破棄すると宣言すればよい。ナセルがスエズ運河の国有化を宣言した例があるしね。アメリカが反対したつて世界の世論が許さないよ。それに国際司法裁判所に条約無効の提訴をする方法もあるんですよ。

のり子　ですけど、そういう政府ができなきゃダメでしよう。

和男　そりやそうさだけど日本人て前のことはすぐ忘れちやつて選挙になるとまた自民党だからな。

母　こんどはそんなことありませんよ。

父　全く。池田なんかに出られたら岸よりもつと悪いだろう。どうしてもこんどは平和憲法を守り中立・平和政策を打ち出す政府を作らなければならない。

母　ほんとに、早くスイスのような国にしたいものですね。